

提供日 2021/8/19 (木) 14:00

タイトル 科学雑誌「EBioMedicine」オンライン版に

寺尾知可史免疫研究部長が参加する研究論文が掲載されました。

担当 県立総合病院 総務課

連絡先 県立総合病院 総務課

TEL 054-247-6111 (代)



ともにつくる 信頼と安心の医療

科学雑誌「EBioMedicine」オンライン版に 寺尾知可史免疫研究部長が参加する研究論文が掲載されました。

1 要旨

静岡県立総合病院の寺尾免疫研究部長（理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム チームリーダー、静岡県立大学特任教授）らが参加する共同研究グループの研究論文が科学雑誌「EBioMedicine」オンライン版に掲載されました。

2 研究タイトル

Susceptibility loci and polygenic architecture highlight population specific and common genetic features in inguinal hernias

（鼠径ヘルニアの病態に関わる重要な疾患感受性領域を同定した）

3 国際共同研究グループ

理化学研究所 生命医科学研究センター

ゲノム解析応用研究チーム チームリーダー 寺尾 知可史（てらお ちかし）

ファーマコゲノミクス研究チーム チームリーダー 蒔田 泰誠（むしろだ たいせい）

特別研究員 曳野 圭子（ひきの けいこ）

東京大学医科学研究所 人癌病因遺伝子分野 教授 村上 善則（むらかみ よしのり）

4 研究概要

- ・鼠径ヘルニアは、腸などの腹腔内臓器が、腹壁の脆弱部から皮下にはみ出してしまう状態のことで、発症には遺伝子的要因も指摘されています。
- ・今回の研究で、鼠径ヘルニア発症には複数の組織（細胞外要素・消化管・皮膚）に関連する遺伝的要素が関わっていることが示されました。
- ・鼠径ヘルニアの病態に関わる重要な疾患感受性領域（遺伝子座）を同定しました。
- ・今後、鼠径ヘルニア発症との関連が明らかになった遺伝子変異・各組織を介した発症メカニズムを解明することで、鼠径ヘルニアに対する新しい治療法や予防法の開発に貢献できるものと期待できます。

5 その他

理化学研究所等から共同リリースしております。

詳細は添付資料をご参照ください。

(問合せ先)

静岡県立総合病院 総務課

静岡市葵区北安東4-27-1 電話：054-247-6111 (代)